

公益財団法人

栃木県ひとり親家庭福祉連合会



宇都宮市野沢町4-1

☎ 028(665)7806

発行人 栗橋幸子

印刷所 高橋平版社

白梅

ごあいさつ

栃木県保健福祉部 とも政策課長

天海 則仁



栃木県保健福祉部 とも政策課 長の天海でございます。

人栃木県ひとり親家庭福祉連合会 機関誌「白梅」の刊行に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

栗橋会長をはじめ、理事の方々や会員の皆様には、ひとり親家庭

等の方々の生活の安定と福祉の向上に向けて、日頃から、一方ならぬ御尽力をいただいております。改めて深く感謝を申し上げます。

さて、令和四年十二月に公表された令和三年度全国ひとり親世帯等調査結果によりますと、母子世帯の平均年間収入は三十三万円となっており、母子世帯を含む児童のいる全ての世帯の平均所得と比較すると、五割程度にとどまっております。

昨年五月、食費等の物価高騰に直面し、その影響を特に受けるひとり親世帯に対して、子育て世帯

生活支援特別給付金を支給したところですが、依然として厳しい状況が続いており、ひとり親家庭が必要とする支援をスムーズに届けたいと求めています。

県といたしましては、令和二(二〇二〇)年三月に策定した「とちぎ子ども・子育て支援プラン(二期計画)」に基づき、ひとり親家庭への支援と貧困の世代間連鎖を防ぐため、高等職業訓練促進給付金等の各種給付金事業、貸付金事業や母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施など、各種支援策に積極的に取り組んでいるところと

今後も、貴連合会と連携しながら、ひとり親家庭への就労支援等各種事業の効果的な実施に向けて取り組んでまいりますので、引き続き御協力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会におかれましては、ひとり親家庭の総合的な福祉を推進する県内唯一の母子・父子福祉団体として、ひとり親家庭の生活の安定と向上のため、より一層御尽力いただくことをお願い申し上げますとともに、栃木県ひとり親家庭福祉連合会の今後益々の発展を御祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ

栃木県ひとり親家庭福祉連合会

会長 栗橋 幸子



令和六年は、元旦早々能登半島を中心とした大地震が起き、東日本の力の恐ろしさを再認識させられました。さっそく一月定例会で役員の皆様にご協力いただき、石川県母子寡婦福祉連合会へお見舞金を贈らせていただきました。雪解けとともに復興が一段と早まるようお祈り申し上げます。

さて、本年は第七十七回関東地区母子寡婦福祉研修大会が栃木県において十月六日に開催される大

切な年です。この大会は、長野、新潟、静岡、山梨を含めた関東地区各都県と市十二地区で毎年順次開催されており、栃木県としては平成二十一年以来十五年ぶりの開催となり、役員の皆様のご協力を頂くとともに一人でも多くの方に来ていただけたらと願っております。

開催地は前回同様宇都宮市ですが、今回はJR宇都宮駅に直結したライトキューブ宇都宮が会場となります。また、昨年運行を開始し、全国でも注目を集めているLRT(次世代型路面電車)が目前で走行し、楽しんでいただけたらと思います。

大会では「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」をメインテーマに関東地区の母子寡婦福祉関係者が一堂に集い、ひとり親家庭と寡婦世帯に関わる情報の交換、諸問題

解決への研修討議が行われる予定です。

私たちの団体は、結成以来このような大会を通して皆様の意見を集約し、様々な制度や手当の実現のため活動してまいりました。

昨年十二月には、全国の各ブロックから寄せられた声を集め全国母子寡婦福祉団体協議会役員が代表して、児童扶養手当等の増額や所得限度額や所得要件の廃止等を国会や国へ要望した結果、微増ではありましたが児童扶養手当につきましては改正されます。

しかし、長引くコロナ禍などによる長引く経済の停滞と急激な物価の高騰は、貧富の差がより明確になっており、特に非正規就労が多いひとり親家庭(特に母子)や寡婦の生活が、相対的貧困層から貧困層へ移行するのではと懸念しております。

最後に、行政、関係機関、企業等社会が私たちの活動を認め協力していただける団体として、今後も継続しひとり親等の福祉の向上を目指せるよう、関東地区母子寡婦福祉大会を、力をあわせて成功させていきたいと思います。

令和五年度 ひとり親家庭福祉研修大会

令和五年七月二日(日) パルティ・ホールに於いて「ひとり親家庭福祉研修大会」が六十八名の参加のもと開催されました。

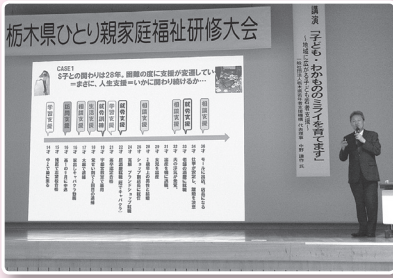
若者のミライのために

栃木市 桑原 左千恵

今回の講演は栃木県若者支援機構の代表理事、中野謙作先生による『子ども・わかものミライを育てます』というものでした。堅い内容なのだろうかと思いついて聞いていたのですが、中野先生の明るい笑顔、口調の優しさに心がなごみ、具体的な事例を挙げたわかり易い内容で話に引き込まれ、自然と相槌を打っていました。

ひきこもり、不登校など多くの問題を抱える現代の若者たち。彼らは自らそうなりたくてなっているのではなく、周りにも、また、社会全体としても問題があるのだと理解しました。彼らを支援するためには、家族や学校の先生以外の大人の力が必要なのだとということもわかりました。高齢化社会の日本で、若者への負担が増す中、闇の中で苦しんでいる若者に手をさしのべるのは我々の役目なのだと思います。あまり大袈裟に考えず自分が今できることをやる、目の前のことからやるのが大切だと思いました。声をかけるとか、笑顔で話すなど。

最近では、コロナやら温暖化やら、地球規模の不安が多く、人々の心も疲弊しがちです。そんなときこそ、ひとりではない団結した力が必要です。ひとり親家庭福祉会としても、何かできることがあるかもしれません。大切な若者のミライのために。



第29回 栃木県民福祉のつどい

令和5年8月29日(火) 栃木福祉プラザ多目的ホール 14:30

知事表彰を受けて

足利市 小松崎 元子

栃木県民福祉のつどいの式典に於いて、母子家庭等支援功労者として知事表彰を受けて大変感動しております。

顧みますと、一歳の子を連れて母子家庭になりました。あれから約五十年たちましたが、今までは子育ての為に色々努力しました。これからは、趣味の時代が来ると思い、レザークラフト教師になる為に、免許を取得し自宅や公民館で教師をしました。ブームのつて生徒が沢山きてくれました。おかげさまで現在も少々続けております。

長い間には、その他の仕事もいろいろもちました。母子家庭の場合は、母親が体調を悪くして倒れると、親子共倒れになるのでもしもの時を考えて、収入確保の為に頑張って貸家も作りました。その間に六十迄、母子相談員として自分の経験を参考にしながら母子家庭の方の味方になり頑張りました。

母子家庭への恩返しとして、今も地区会長をつとめており、今後もささやかながら続けて参ります。

お世話になっております、母子家庭の皆様、又児童家庭課の皆様ありがとうございました。追記 私の父は戦

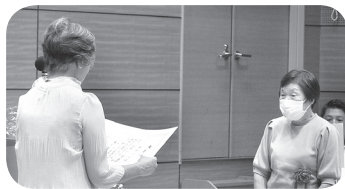


会長表彰を受けて

那須烏山市 高田 クミ

第二十九回栃木県民福祉のつどいにおいて、母子寡婦福祉関係功労者四名を代表して、栗橋会長より会長表彰を受賞させて頂きました。烏山から二人の方が参加しましたが、コロナ感染の心配もあり別室でのモニター鑑賞となりました。私は下の子供が高校三年生の時を出ました。その話を聞いた前会長の西原さんが、バスで日光に行きハイキングをするから参加したらと誘われて、子供と一緒に参加したら、楽しそうに年配おばさんと歩く子供を見てこんな事もあつていいのかなあと感じて、入会しました。その時の参加費が二

千円で子供は千円だったと記憶しています。その時の低価格の参加費が今の私が行事を行う原点になっております。しかし今は若い方が安い費用でもなかなか参加をしていただけません。確かに私の子育て時より大変なのかも知れませんが、私は今放課後児童クラブで支援員をしており、夕方六時頃迎えに来て家に帰す、お風呂や食事の準備をしての生活、誰も手伝ってくれない。そんな中で土日はゆっくりしたいという気持ちには良く解りますが、プラスに参加を待ちしております。今回の受賞で会員さんをはじめ多くの先輩方に押し上げていただいたことを感謝しながら、今後もひとり親家庭の発展の為に尽力していきたいと思っております。



県民福祉のつどい 表彰者

第29回栃木県民福祉のつどいにおいて、永年の母子寡婦福祉の功労により次の方が表彰されました。

〈栃木県知事表彰〉

母子家庭等支援功労者

足利市 小松崎 元子

〈会長表彰〉

母子寡婦福祉関係功労者

那須烏山市 高田 クミ
 栃木市 松本 育子
 真岡市 仁平 富美枝
 益子町 大岡 恵美子

～ おめでとうございます ～



那珂川町

処分場を見学して

葛西 京子

廃棄物、それは私たちが生活する中で、取り組み、考えなければいけない重要な課題です。わが町、那珂川町では小口北沢地区の不法投棄を処理する為の協議を県と行い、地球環境に配慮し未来へと継承する為の「県営処分場エコ

グリーンとちぎ」が完成しました。皆さんも是非見学に来てください。

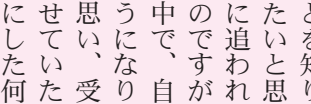
ここで処理される廃棄物の種類は、北沢地区の不法投棄物を含めて、瓦礫、汚泥等、いろいろありますが、十二年後には満杯になります。なんとかがゴミを減らしたいものです。

現在、私達は古紙のリサイクルを行っています。今後も那珂川町に住み続ける為に、研修や提案を行って、環境を汚染することなく生活していきたいです。

ちなみに、今まで私達の研修は、栃木の気象現象の説明を気象台の職員にお願いして、

茂木の会員と合同で行ったり、昨年は役場生活環境課職員のお話を聞いたり、今年はクビアカツヤカミキリムシの研修を県の職員ので前講座で行ったりしました。

今後も健康に留意し楽しい会の活動を行っていきます。



受講生の声 ①

医療事務研修を受講して

佐野 佑紀子

ひとり親家庭福祉連合会で就業支援として、医療事務研修が受けられることを知り、チャンスがあれば受講したいと思っていました。仕事や生活に追われ、なかなか機会がなかったのですが、子供が大きくなっていく中で、自分の将来を真剣に考えるようになり、選択肢の一つになればと思い、受講することを決め、応募させていただきました。

手にした何冊もあるテキストを前に、私が勉強についていけないのか不安でしたが、同じ教室で一緒に学ぶ方や講師の方にも恵まれ、よい環境の中で学ぶことができました。そのおかげで講義の進む早さについていくことが大変でしたが、家での復習が日課となり、必死で頑張ることができました。家族にも支えてもらい、事務局の方はじめ応援していただき、最後まであきらめずに勉強を続けられました。無事に資格取得することができました。それは、自分の自信になりました。受講してよかったですと思います。資格取得したことにより、思考や知識の幅が広がり、今後の就職活動に役立っています。

最後まで応援していただいた事務局の方、講師の方や家族、共に学ん

だ仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。このような機会をいただきました。ありがとうございます。

初任者研修を受講して

H・N

私は、福祉のお仕事に関わりたいたいと思っていたのと、仕事を探すのにやはり資格があった方がいいのではと思っていたので、たまたまこの講座のことを知って、年齢的にも最後のチャンスかとも思い勢いでスタートしてしまっただけでもありました。実際に講座が始まるとやっぱり私には無理かもと感じることがばかりで、毎回緊張して通っていました。

介護の経験も知識もなく、五十歳を過ぎて新しいことを学ぶのは私にとっては想像以上に大変でした。当たり前のことも頭に入ってこない、何にも入ってこない状態で大変でしたが、勉強することが久しぶりだったので、約四ヶ月は有意義な時間でした。

資格取得をできたことで自信に繋がりが次のステップに興味が出てきたので、実務者研修も目指してしっかりと就職に向けて勉強していきたいと思っています。励ましてくださった事務局の担当の方、講座を担当してくださった先生方、初任者研修の仲間の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

観光案内

よつこぞ、人と文化が共存する、おもてなしの街「佐野」へ

立川 勝美



佐野市は県の南西部に位置し、緑豊かな森林、美しい清流、農産物など四季を通して多くの自然に恵まれています。また各所に名所旧跡があり歴史の深さと文化を感じることが

国指定史跡、唐沢城跡や神社、藤原秀郷ゆかりの地を巡って当時を偲んでみてはいかがでしょうか。又唐沢城や神社、出流原弁財天等観光名所をライトアップし夜の観光の魅力を再発見!!ぜひお越しください。また千百年の歴史を受け継ぐ天明鋳、関東の天明釜を伝える仏像や大鐘モニュメント、鋳造所を訪れてみてはいかがでしょうか。鋳物の素朴で独特の力強さとぬくもりが魅力的です。次に自然の中で様々な体験ができる、あきやま学寮体験館、古代村、ウッドランド森沢があります。学寮は家族はもちろん学校や

企業、団体の研修まで幅広く利用できます。施設内にはログハウス、大浴場、研修室、ホール、バーベキューハウスなどあります。古代村には竪穴式、横穴式住居があり、夜は電気を使わずに月や星と一夜を過ごしてはいかがでしょうか。その他火おこし体験、耳うどん作り、そば打ち、勾玉作りなど様々な体験メニューがあります。ぜひ皆さんでチャレンジしてみてもいかがでしょうか。

ぜひ佐野へ一度お越し下さい。おいしいそばやラーメンもお待ちしております。



受講生の声 ②

家庭生活支援員養成研修を受講して

H・I

ひとり親家庭であり、家庭生活支援員養成研修があることを知っていました。機会がなく、「私にできることは何か」これからの支援に活かせると思いい受講を決めました。

研修カリキュラムを見て、一日教授と講師と専任教員によって根詰め日程に不安でしたが、受講していく中で自分自身の子育て時期と照らし合わせたり、身近なことから興味深く分りやすい研修でした。

保育実習では、純粋な園児たちと遊び、楽しい体験をすることができました。

講習で得た教養と常に園児と接している先生方に感謝したいと思います。

子どもの成長に欠かせない親子で会話、ちゃんと聴き答える姿勢が大切なこと、子どもや親が身近な地域で安心して笑顔で暮らせるよう、すべての子どもが健やかに持てる力を発揮し自立できるように支援したいと思いました。

調剤薬局事務研修を受講して

高木 楓花

子育て支援の方の勧めで、講習を受けました。

初日は、どんな人と講習を受けるのか、どんな先生なのか、緊張していましたが、一緒に勉強する方も講師の先生もとても優しく、安心して受講する

ことができました。

授業が始まると、進むスピードが早かったけれど、分からないところは、いいねいに教えてくれました。家に帰ってからの復習も、子どもがいたりして、あまりできませんでした。

私は、計算がとても苦手なので、レセプト作成や計算問題に時間がかかったし、スピードも遅かったけれど、できた時は嬉しかったです。

研修をおえて、今までなかった知識を知ることができ、さらに学生に戻った気分になって、とても楽しい四日間になりました。

講師の方や支えてくださった方、ありがとうございました。

医療事務研修を受講して

一 受講生

これからの将来の為に何か資格を取得たいと思っていたところ、インターネットで検索した際にひとり親家庭対象の支援があることを知りました。

どんな施設なのか、私にも出来るのかなど最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、講師の先生にお会いした途端一気に緊張がほぐれました。担当して頂いた先生方はとても優しく、一問一問丁寧に教えてくださいました。課題も無理のない範囲の量なので、私生活と両立しながら勉強することが出来ました。日曜日のみの受講だったのも平日仕事をしながら学べたので良かったです。

この経験を活かして、仕事も子育ても頑張っていきたいと思えます。

最後まで支え続けてくれた事務局の担当の方々、講師の先生方、本当にありがとうございました。

令和6年度行事予定

- ・栃木県民福祉のつどい
8月29日
- ・関東ブロック研修大会
10月6日(栃木県)
- ・全国研修大会
(富山県富山市)
10月27日(日)
- ・サポーターのつどい
11月10日(日)
- ・家庭生活支援員養成研修
1月～2月

女性弁護士による 無料法律相談

離婚を考えている方、ひとり親家庭の父、母及び寡婦の方対象

相談日 毎月第2第4水曜日の午前中

相談時間 ひとり30分程度

事前予約が必要です。

※お問い合わせ・予約

☎ 028-665-7801・7806
火曜日～日曜日(祝日除く)
9:00～16:00



令和6年度就業支援講習会

ひとり親家庭の父、母及び寡婦の方対象

- *介護福祉士実務者研修
- *介護職員初任者研修
- *医療事務研修
- *調剤薬局事務研修



講習は無料ですが、テキスト代、受験料等の個人負担があります。4月2日より随時受付、4月より順次開催となりますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

令和五年度はコロナは随分緩和されましたが、インフルエンザが早々に流行り学級閉鎖が各学校で見られました。マスクを外せると思った瞬間の出来事でした。物価は燃料に輪をかけ、高騰しました。入るお金は誰も決まっているので、なるべく買物をしていないようにしたのは私だけ？ 県のひとり親家庭でも国のほうに生活の安定を求めて頑張っている居ります。どんなことでも一人で悩まずに近くのひとり親福祉会にご相談下さい。



〈広報部会〉

高田・山口・赤荻・橋本
森島・板橋・大野・森田
田口・織田

「白梅」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

